

絵画展を見て

12月の初旬の3日間、「地域で生きる障害者を支える会」主催で 現代国内外の一流の画家出品の絵画展が日石横浜ホールで開催されました。私は地元日吉のボランティアグループの方達と初日に受付を担当しましたが、当初はどれ位の人達が入館して下さるか、宣伝は広く行き渡っているかしら等、多少の不安がありました。でも10時開会後は入場者がほとんど途切れる事なく続き、なかには新聞で知った相鉄線に乗車して遠方から観賞に来た奥様グループも。

まず受付の前に展示してある“よつば”所員の日常生活の写真や作品、お花の飾り等に感嘆の目を見張り、奥に進みました。手前の室には小倉遊亀や平山郁夫等々、国内一流の画家達の素晴らしい作品が所狭しと展示してあり、足が釘づけになりました。

奥に進むと外国の作家達の幻想的な絵、美しい色調や大胆な筆さばきの大小の絵等、素人の私は唯々見とれるばかりでした。普通、絵の展覧会に行きますと、静寂な空気が漂っていて、多少肩がこりませんが、この会は各室でお茶やコーヒー等を頂きながら、友達同士それぞれ好きな絵の品評をしたり、再会を喜び、おしゃべりを楽しんでたり、とても和やかな絵画展でした。

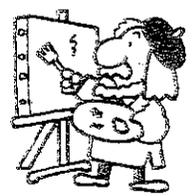
フランス人のロジェ・ボナフェさんは連日、出席して皆様に、にこやかにサインを下さいましたが、出品された絵が人柄をよく表わした綺麗な赤を使ったやさしい絵でした。私は思わず気に入って1枚購入しました。3日間の人出で、どれだけの利益があったのでしょうか。「よつばホーム」の活動資金として少しでも多くの純益を得られたのでしょうか。成功裡に終わった事と祈っております。

皆様ご苦勞様でした。 門脇 知子(翻)

たわわ  地域で生きる障害者を支える会通信	新2001年12月28日
	18号
	「地域で生きる障害者を支える会」会報
	住所：横浜市港北区下田町6-31-8 活動ホーム「しもだ」内
	TEL045-562-3600 FAX045-562-5991

現代国際巨匠絵画展

楽しく成功のうちに終わる



「楽しかったわね!」「また、こんな集まりをしてほしいわ...」
 これまで取り組んだことのないイベントでしたので、どうい結果が出るやらとても心配でしたが、お客様からもスタッフの反省会でも明るい声がきけて、ホッとしています。

お陰様で会期の3日間を通じ、ご来場者600名余りを数え、絵画のお買い上げも39点とほぼ目標を達成致しました。これにより総売上10%に当たる(1,600,750円)が当会に寄付されます。

またもう一つの目的であった「障害者作品・写真展」のほうも、熱心に見ていただき、私たちが支援する障害者についてご理解いただく機会とできました事を感謝しております。尚、会期中のスタッフは延べ94名すべて無償でご参加。心よりお礼申し上げます。

感動!!

現代国際巨匠絵画展

11月30日、フランスのロジェ・ボナフェ画伯ご夫妻をお迎えしての前夜祭にはじまり、12月3日まで開催されました絵画展は大盛況でした。売買契約成立の都度、湧きおこります拍手も数多く繰りかえされました。画伯の絵に対する思いやお勧めに、ポンと背中を押されて決断したという知人、ご助言を頂いて絵筆をとる自信がもてたと述べる友人など、ご来場者は一様にご満足そうでした。

同時に展示されました“よつばホーム”の活動の様子や、グループホームのスナップ写真、そして表情豊かな数々の製作品にも心うたれました。それらの前で語られる微笑ましいお姿、また日頃ゆったりとした時を持たれることも僅かでしょうお母様方のご表情も常にも増して、なんと優しく素敵だったでしょう。

音楽では大曲や難解な作品も、小手先ではない名演奏であれば魅了され感動するものですが、絵もまた然り、心豊かな嬉しい数日を頂きました。ご盛会おめでとうございました。

三上 文子(翻領)

チャリティ絵画展に寄せて

12月1日~3日のチャリティ絵画展のお手伝いはとても楽しい時間でした。初めての経験でしたが、大好きな絵をゆっくり思い切り見る事が出来てとってもお得なお手伝いだったと思います。

お友達の新聞記者さんのお蔭で、朝日新聞にも予告を写真入で載せてもらえたり、1日目の様子をまた紹介記事で載せてもらえたり。新聞を見てたくさんの人が絵画展に来てくださったし・・・結構お役に立てたかな?と思っています。

短い準備期間で心配もしていたのですが、売上もかなりあって本当に良かったと思います。

皆さんの気持ちが一つになって頑張った結果だと思います。今回の絵画展のスタッフに加えていただいて光栄に思いました。これからも私にできる事があれば何でも何時でも(千と千尋の・・・みたい)お手伝いを致します。

小栗 由美子(領)



会
員
の
声

あるお母様が最近、富にステキになられたのが不思議でなくて、その方にこんな失礼な質問をしてしまいました。

「どうされたのかしら？若返られたみたいよ、心境の変化でも」と。

お母様は照れて「アラッ いやだっ…」と。

絶対何かあるとにらんだ私がしつこく伺うので

「しいていえばグループホームかな 希望が見えたってことかな？」

とおっしゃった。私はハッとして胸の中がキュンとなった。グループホーム誕生がこんなにも大きな出来事だったとは知らなかった。

“よつば”とはもう10年もお付き合いしているのに何も分かっていないと反省してしまっ

た。人間が若返られることがあるなんてステキ！

よつばの皆にとっては月への一歩よりはるかに大きな第一歩なのでしょう。

私も何かお役に立ちたいと胸は騒ぐ。

ボランティアとは“自分から進んで行く”という意味だそうだが、グループホームに関しては無知で何をしたらよいか分からない。

何でも声をかけて欲しい。体が許す限りお手伝いしたい。

人間、人の気持ちはとかく分からないものだ。だからこそ、分かろうとする気持ちが大切で、どうかしようという行動が大事と思っている。

皆とはいつまでもお付き合いさせて欲しい。よろしくネ!! (神代 孝子)



今月のよつばホーム

今月は、支える会の絵画展などで若干忙しい月でした。入居者の方も疲れが溜まり軽い微熱が出た方もいましたが、普段では絶対に見ることが出来ない絵を見られて刺激にはなったようです。自分の部屋に当日購入した絵を飾ってある人もいます。一枚、絵を飾っただけで部屋が明るくなり、とっても良い感じの部屋になっています。

生活に関しては、まだまだ落ちつかない人もいますが、ゆっくりマイペースに日々を過ごしています。

今月より新しい職員が仲間入りしました。本人よりコメントをもらったので紹介します。

初めまして、栗澤 美矢子（くりさわ みやこ）と申します。

よつばホームにて 12 月から非常勤職員として働かせて頂くことになりました。現在、私は養護学校の教員を目指して、明星大学 人文学部心理・教育学科 通信教育課程で勉強をしています。

よつばホームでの生活を通じて、入居者さんから沢山の事を学び、今後役に立てていきたいと考えております。

個性豊かな、入居者さんと共にアットホームな雰囲気のよつばホームを築き上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

5人の声

こんどの「絵画展」では私も案内状を配ったり、またその知り合いの人に配っていただいたりしました。

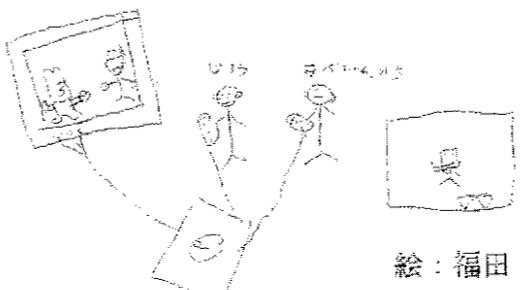
絵画展の当日は、3日間全部受付にいたので、友達や、先生や、いろいろな方に会えました。家のご近所の方もきてくださって、作品や写真パネルを見て、私たちのこともいろいろ知っていただけたと思います。

私はこれまでに、一生懸命引っ張ってきていただいた方や、お世話になった方たちなどたくさんの人とめぐり合いました。

私は、ずっとこのつながりを大切に持ち続けたいと思って来ました。しばらくお手紙のやりとりだけになっていても、今度のように忙しい中を来て下さって会える機会があると「つながりが生きているのだなぁ」と思って、とてもうれしいです。

これからも、理解してくれる人や一緒に考えてくれる人を増やしたいと思います。

大原友子



絵：福田 次郎

12月の報告

11月30日 絵画展前夜祭

12月1日~3日 絵画展 (12月1日)

19日 絵画展反省会

今年1年、お世話になりました。

皆様は、どのような1年を過ごされましたか。支える会では 念願のグループホームの設立、また、初めての試みの絵画展、会員懇談会と取り組んできました。幾つもの出会いがあり、その度に、人と人との間で生きていることを実感します。

来たる年もよろしくお願い致します。

しばらく、お休みしていた学習会、会員懇談会も計画中です。日程等は決まり次第、ご連絡致します。



会員入会状況(截至13年12月21日現在)

- 会員 24名
- 賛助会員(個人) 134名
- “ (団体) 4団体

入会者紹介(賛助・個人 如新入会者)

- [賛助] 笠井 満喜子
- 安田 章子
- 高木 節子
- 白川 淳子